

いづばん質問

本定例会での一般質問は、10人の議員が登壇し、さまざまな角度から市政をただしました。質問(Q)と答弁(A)を要約してお知らせします。

※ 会派に所属していない議員につきましては、氏名の下の会派名は記載しておりません

脱ゆとり授業への対応は

昨年度より移行措置を実施



鎌田 政子 議員 (明和会)

Q 来春に完全実施される新学習指導要領で、小学校では「脱ゆとり」が本格化される。昨年、本年と

2年をかけて準備をするとのことだが、問題なく来春を迎えられるか対応状況を伺う。

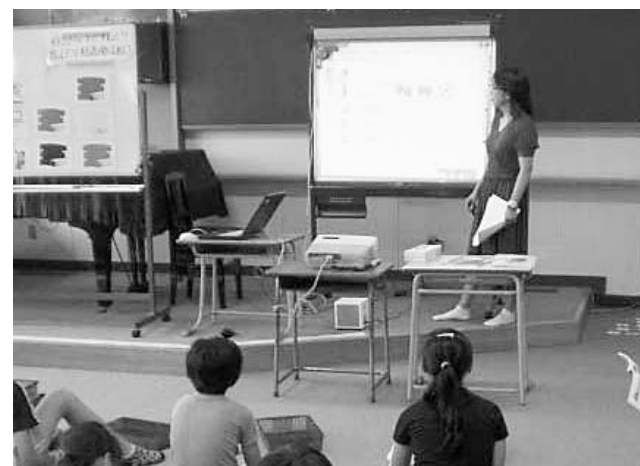
A(教育長) 改訂内容の周知徹底、授業時間数増への対応、教材教具の対応の3点に配慮しながら市内各学校で平成21年度から新学習指導要領の移

行措置を実施しており、完全実施を問題なく迎えられるものと認識している。

Q 入院ベッド中止による大迫診療センターの空き病床を、特養施設にしようというグループがあ

無床化後の活用策は

るが、社会福祉法人設立や施設の運営においてクリアすべき要件は何か。また、市として、どのような支援が考えられるのか。**A(生活福祉部長)** 物件の所有または地方公共団体等から貸与もしくは使用許可を受けること、年間事業費の12分の2以上に相当する現金、普通預金または当座預金等を有していることが要件である。市としては、施設の速やかな開設に向け、できる限りの支援をしていく。



市内の小学校では、電子黒板を活用した授業も行われています(7/8 八幡小学校)

地域医療を守るための取り組み

医療圏構想の策定に取り組み



藤井 英子 議員 (平和環境市民クラブ)

Q 地域医療担当を設置したことにより、本市の実態について課題が見えてきたと思うが、具体的

にどのようなことが分かり、そのことに対して、今後どのような取り組みをしていくのか。また、今後の取り組みとして、地域から病院をなくさないために基金をつくるなどの考えはないか伺う。

A(市長) 今後は、市民の受診行動や医療機関の配置状況の分析、市民への情報発信、医療圏構想の策定に取り組んでいく。また、基金については、現在のところ考えていないが、地域医療を守る取り組みは必要であると考えているので、当面は状況に応じて予算措置をしながら対応していく。

Q 不妊治療を受けている方への負担軽減の支援が必要である。市独自に助成をする考えはないか伺う。

A(市長) 子どもを生みたいという強い思いから高額な治療費を負担して治療を受けている市民のかたがたの軽減を図ることは、結果として少子化対策の一環にもなるため、予算化に取り組みたい。



毎週月曜日に開催されている「おやこあそび」では、親子でふれあいながら楽しく体を動かしています(7/12 ことばセンター)

家畜伝染病の危機管理対策

関係機関と協議し対策を講じる



小原 茂明 議員 (花巻クラブ)

Q 宮崎県での口蹄疫の猛威拡大状況が連日報じられてきたが、全国有数の畜産県である本県に飛

び火してこないか心配である。この間の九州地方からの子牛の導入の有無について伺う。また、家畜伝染病への危機管理対策について伺う。

A(市長) 本市への4月以降の九州地方からの導入実績はない。本県で口蹄疫が発生した場合は、

国の指針、県のマニュアルに基づき県に対策本部が設置され、市はその協力・支援を行うため、花巻市農業振興対策本部を基に必要な対策を講じていく体制となっている。



市内畜産農家に消毒用消石灰を配布するとともに、市営牧野では、道路に消石灰を散布し、関係者以外の立ち入りを制限しています